

令和5年度
事業計画書

特別養護老人ホーム 雪舟園

目 次

1 事業運営計画-----	P 1
2 実施施策の令和5年度行動計画-----	P 2
(1) 職員が働きやすくやりがいを感じられる職場づくり-----	P 2
(2) 利用者の生活を支えるサービスの質の向上-----	P 4
(3) 安定的で持続的な経営基盤の確立-----	P 7
3 目標利用率-----	P 10
4 固定資産物品購入計画-----	P 10
5 修繕計画-----	P 10
6 大規模修繕計画-----	P 10

1 事業運営計画

事業の種類及び利用定員				
1	介護老人福祉施設	70名		
2	短期入所生活介護	10名		
運営方針				
1	介護老人福祉施設			
	(1) 個人の尊厳を旨とし、入居者の権利擁護に努め、より一層質の高いサービスを追求する。			
	(2) 安心して安全かつ健全な生活の場を保つ。			
	(3) 法令を遵守し、入居者及び家族への説明責任を果たす。			
	(4) 効率的な経営と良質なサービスの根幹となる優れた人材の育成に努める。			
	(5) 地域における福祉の発展を使命とし、地域の法人と事業所、住民との密接な連携を図る。			
2	短期入所生活介護			
	(1) 個人の尊厳を旨とし、利用者の権利擁護に努め、より一層質の高いサービスを追求する。			
	(2) 安心して安全かつ健全な生活の場を保つ。			
	(3) 法令を遵守し、利用者及び家族への説明責任を果たす。			
	(4) 効率的な経営と良質なサービスの根幹となる優れた人材の育成に努める。			
	(5) 地域における福祉の発展を使命とし、地域の法人と事業所、住民との密接な連携を図る。			
	(6) 利用者が可能なかぎり自立した居宅生活を送ることができるよう日常生活上に必要な援助を行い家族の身体的又は精神的負担の軽減に資する。			
職種別職員配置				
1	介護老人福祉施設・短期入所生活介護			
職種	正規職員	準職員	非常勤職員	合計
施設長	1			1
事務職員	2	1		3
栄養士	1			1
調理員	2	2	1.8	5.8
生活相談員	2			2
介護支援専門員	1			1
介護職員	24	16	2.8	42.8
看護職員	4		0.7	4.7
機能訓練指導員	1			1
夜間介護員			1.2	1.2
介護助手			1.6	1.6
警備従事者			1	1
用務員			1.3	1.3
合計	38	19	10.4	67.4

縣市町村等からの受託、補助事業等	
1	要介護認定調査業務（益田市）
2	介護予防支援業務（地域包括支援センター）
地域における公益的な取組	
1	社会福祉法人等による利用者負担軽減制度の利用による生活困窮者の支援

2 実施施策の令和5年度行動計画

(1) 職員が働きやすくやりがいを感じられる職場づくり

ア 福祉・介護業界のイメージアップを図り、多様な働き方を推進する。

実施施策	介護人材の安定的な確保と定着
取組の方向性①	働きやすく人間関係の良い職場を目指し施設の魅力を充実させるとともに、人材確保に向け様々なイベントに参加する。更に、圏域で開催される介護福祉士初任者研修や福祉の入門コース等の講師や実習を積極的に受け入れ、就職に繋げる。
行動計画	・ 介護労働安定センターや西部高等技術学校・益田市内学校等の実習受け入れについてPRを行い、就職説明会・福祉相談会等に参加する。
取組の方向性②	介護未経験者の就労に繋がるよう広報活動を広め、人材確保の取組を強化する。
行動計画	・ ハローワークや福祉相談会に参加し、求職者が希望する業務内容で求人する。
取組の方向性③	資格取得や研修に参加しやすい環境を整えることで、職員の定着に繋げる
行動計画	・ OJT 面談や日頃の面談で確認し、職員が自ら希望する研修に参加できるよう勤務調整する。

実施施策	広報活動の強化
取組の方向性①	地域の就労実態、求職者のニーズを把握し、実態に即した活動を実行する。
行動計画	・ どのような求人内容であれば求職者のニーズとマッチするのか検討し、求人を行う。
取組の方向性②	SNS・ホームページ・広報誌等を有効に活用し、幅広い年齢層へ情報を発信する。
行動計画	・ 広報に興味を持つ職員を募り、今までの広報系の活動に加え、雪舟園の魅力を伝えられる広報について検討し活動する。

イ OJT 制度を中核に職員一人ひとりを育成し、チームケアを推進する。

実施施策	職員の育成体制の構築
取組の方向性①	採用者の状況に応じた育成プログラム等により、定期的に育成状況を確認

	する体制を整え実施する。
行 動 計 画	・ 生活支援課長、グループリーダー、ユニットリーダー及び本人で面談を行いし、進捗状況に応じて随時育成プログラムを見直す。
取組の方向性②	職員のコミュニケーション能力やコーチング能力の向上に引き続き取り組む。
行 動 計 画	・ 「コミュニケーション」の研修を行い全職種のコミュニケーション力の向上を図り、職員が互いに高め合い、共に学ぶ姿勢を持つことができるようにする。

実 施 策	ユニットリーダーの育成とユニット運営体制の強化
取組の方向性①	ユニットリーダーとそれ以外の正規職員の業務・役割を明確化し、ユニット運営能力を高める
行 動 計 画	・ ユニットリーダー会議は、ユニットリーダーのコミュニケーション力を高めるための時間として活用する。
取組の方向性②	生活支援課を中心に他職種・専門職が連携したサポート体制を整える。
行 動 計 画	・ ユニット運営が円滑に行えるよう他職種・専門職がフォローする。
取組の方向性③	ユニットリーダー一人ひとりの力量に応じた育成体制を整える。
行 動 計 画	・ 生活支援課長、グループリーダー及びユニットリーダーで2か月毎に進捗状況を確認し、課題に取り組めるよう適宜助言・指導する。

ウ 職場風土を改善し、職員の定着率とモチベーションを高める。

実 施 策	働きやすい職場づくり
取組の方向性①	管理職による職員の面接を実施し、随時職員と話す時間を持つ。
行 動 計 画	・ 管理職の面接・OJT面接で職員一人ひとりの思いを聴き、安心感を抱けるよう働きかける。 ・ 管理職は、各部署・ユニットへ行き職員一人ひとりへ労いの言葉をかける。
取組の方向性②	実践理念に基づき同じ目標に向かい努力する仲間意識を持ち、組織力を高める
行 動 計 画	・ 各部署やユニットで、会議、ミーティング時に実践理念を唱和する。 ・ 各部署、ユニット、チーム等でそれぞれ目標を定め、一緒に取り組む仲間意識を構築する。
取組の方向性③	職員の交流を深める場を設け、話しやすい職場風土を作る
行 動 計 画	・ 親睦会が中心となりイベントを計画し、実施し楽しい時間を共に過ごす。 ・ チームやイベント等で多くの職員と関わり、互いに認め合う場を設ける。

実施施策	モチベーションの向上
取組の方向性①	職員の「やりたい」を実行できる職場風土をすることにより、職員一人ひとりがこの仕事のやりがいを感じたり職員間で共有したりできるようにする。
行動計画	・ お互いに自分の思いを伝えあい、相手の良さを伝えあえる職場風土を築けるような仕組みを検討し取り組む。
取組の方向性②	管理職級の職員は施設内で相談ができる体制を構築し、職員の心身状態を把握する。
行動計画	・ 職員一人ひとりに企画会議メンバーが声をかけ気づいたことを管理職へ相談し早期に対応する。

エ 業務の生産性を高め、ワークライフバランスを推進する。

実施施策	多様な働き方の推進
取組の方向性①	多様な雇用形態・業務形態を提供することで、どの年代も働きやすい職場環境を整える。
行動計画	・ 求職者のニーズと各ユニットに必要な時間・業務内容をマッチングさせ、雇用へ繋げる。
取組の方向性②	職員一人ひとりが「就業時間内に」を当たり前として、互いに休みやすい職場環境を整え、心身ともに健康的に働き続けられる体制を構築する
行動計画	・ お互い様の思いを持ちつつお互いに年休を5日取得する。

実施施策	記録業務の効率化
取組の方向性①	業務内に記録ができるよう改めて業務改善に取り組む。
行動計画	・ 業務内で必要となる記録時間を想定し、勤務時間内に記録できる時間を確保する。 ・ 引き続き終業時刻の15分前には記録を始め、互いに「就業時間内に」を守るよう声をかける。
取組の方向性②	ICTの活用等で業務内容を改善し作業効率を向上させるとともに、時間外業務の削減に向けて取組を強化する
行動計画	・ ICTチームを中心に、業務の生産性を高めるために有効なICT機器について情報収集を行い、デモ機を試行する。また、必要に応じて本部へ相談し、導入を検討する。

(2) 利用者の生活を支えるサービスの質の向上

ア 先進的で魅力あるサービスを提供し、サービスの質を高める。

実施施策	重度化に伴う医療的ケアへの対応
取組の方向性①	高齢者の生活を支えるために必要な介護の基本を知識・技術の両面から学

	びなおす。「食事」「排泄」「入浴」等
行動計画	<ul style="list-style-type: none"> 各チームの取組により各ユニットを支え、入居者・利用者一人ひとりの「食・生活」に携わる。 LIFE のデータ提出とフィードバックデータの活用により PDCA サイクルを推進してケアの質を向上できる体制をつくる。
取組の方向性②	PDCA サイクルを活用し、看取りケアを強化する
行動計画	<ul style="list-style-type: none"> 看取り介護の実践と振返りを重ね、より良い看取りに携わるよう看取りチームがユニットをフォローする。 老いる中での食べる機能の低下を随時家族へ情報発信し、最期の「食」まで楽しめるよう状態変化に応じて対応する。 コロナ禍の中でも家族との最期の時を大切に過ごしてもらえるよう配慮する。 状態説明時に管理栄養士が嚥下ピラミッドのパフレットを活用し食事形態について説明する。
取組の方向性③	入居者・利用者・家族の満足度を確認し、改善を図ることによりサービスを向上させる
行動計画	<ul style="list-style-type: none"> 満足度調査で抽出された課題について各部署・ユニットで対策を立案し改善に取り組む。 生活支援課長を中心にサービス評価を行い、サービスの質の向上へ繋げる。

実施施策	ICT の導入と活用
取組の方向性①	眠り SCAN・離床 CATCH・タブレット端末を活用し、入居者の状態を把握することにより、生活環境を整えサービスの向上へ繋げる。
行動計画	<ul style="list-style-type: none"> 入居者・利用者へ安全で安心できる生活を提供するために必要な機器を選択し、活用する。
取組の方向性②	ICT チーム職員が中心となり職員一人ひとりへ ICT の使用方法を伝えることにより、情報の共有とサービスの向上へ繋げる。
行動計画	<ul style="list-style-type: none"> ICT 機器の使用方法については、ユニット職員が熟知できるよう ICT チームが中心となってフォローする。

イ 安全安心で快適な暮らしを保障し、利用者の満足度を高める。

実施施策	事故防止対策の強化
取組の方向性①	事故対策委員会の開催方法や構成メンバー等を見直し、発生後の迅速な検証と予防策が立てられる体制をつくる。
行動計画	<ul style="list-style-type: none"> 事故発生時には生活支援課長への報告とともに事故検証を実施し、対策を立案し家族へ報告する。
取組の方向性②	24H シートで入居者個々の生活リズムを把握し必要な支援を行うことがで

	きるようにするとともに、ICT（見守り機器）を活用した事故防止策を24Hシートに反映させることにより、事故防止に繋げる
行 動 計 画	<ul style="list-style-type: none"> ・ 介護技術チームの取組として、職員一人ひとりが介護技術について自己評価や振り返りを行うことで、ケアを標準化する。 ・ 入居者一人ひとりが安心・安全に暮らせるよう事故を再発しないよう24Hシートに追記し誰もが統一したケアで携わる。
取組の方向性③	リスクマネージャーが事故分析能力を高めるための研修へ定期的に参加し、施設内研修により職員の事故分析能力の向上を図る。
行 動 計 画	<ul style="list-style-type: none"> ・ ヒヤリハットの重要性を職員へ研修で伝え、取組を強化する。 ・ 「防げる事故・防げない事故」の評価方法について職員へ周知・浸透させる。

実 施 施 策	入居者の安全を保障する防災・感染症対策の強化
取組の方向性①	感染症や災害についての園内研修や訓練を計画的に実施し、その結果に基づきBCPの実効性を評価し見直しを行う
行 動 計 画	<ul style="list-style-type: none"> ・ BCPに基づく研修・訓練を実施し、生じた課題に対してBCPを見直す。 ・ 研修・訓練実施後、各部署・ユニットへ内容について周知し、職員一人ひとりがどのように動かなければいけないのか意思化する。
取組の方向性②	災害時に地域住民と協力できる体制を整える。
行 動 計 画	<ul style="list-style-type: none"> ・ 近隣自治会長と連携し、災害時の動きを確認する。

ウ 施設機能を積極的に開放し、地域とのつながりを強化する。

実 施 施 策	地域とのつながりの強化
取組の方向性①	ホームページや地域向けの広報誌の充実を図り、施設での生活の様子や活動を積極的に発信する。
行 動 計 画	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広報活動に興味のある職員で広報係を組織し、活動の活性化を図る。
取組の方向性②	益田市社会福祉法人連絡会や地域住民の活動に参加することにより、地域のニーズを把握し、地域交流の場としての施設の開放に繋げる。
行 動 計 画	<ul style="list-style-type: none"> ・ 益田市社会福祉法人連絡会に参加し益田圏域の動向を把握する。 ・ 近隣自治会の活動状況を把握し、Withコロナを踏まえ施設としての地域活動を再開する。
取組の方向性③	地域住民に向けてボランティア募集等の情報発信を積極的に行うことにより、ボランティアの開拓にこれまで以上に取り組む。
行 動 計 画	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施設行事の際に学生ボランティアを募り、入居者とのふれあいの機会をつくる。

実 施 施 策	社会資源としての取組の推進
---------	---------------

取組の方向性①	実習やインターンシップを積極的に受け入れ、職員の指導力やサービスの質の向上へ繋げる
行動計画	・ 介護福祉士実習指導者の研修へ職員を派遣し、実習指導者を増やし、実習の受入れ希望に対応する。
取組の方向性②	生涯学習の一環として行われる各種学校の福祉教育に関する情報を把握し、職員を講師として派遣する等地域に貢献する。
行動計画	・ 益田圏域の学校へ福祉教育について対応できることを発信し、実技や福祉機器等について学ぶ機会を提供する。

(3) 安定的で持続的な経営基盤の確立

ア 収入の安定確保と経費増大の抑制で、安定性の高い財務体質を維持する。

実施施策	利用率の維持・向上
取組の方向性①	入居前調査と入居検討委員会をスムーズに実施することにより、待機者を確保するとともに、退去から入居までの期間を短縮する。
行動計画	・ 入居者・利用者の安心安全な暮らしを保証できるユニット体制を整える。 ・ 常に待機者を3名確保し、退所から入居までの期間を短縮する。
取組の方向性②	日常生活における観察眼を養い、ユニット職員が異変に早期に気づき看護師や専門職と連携した体制を作ることで入院の減少を図り、施設で安楽、安全に終末期を迎えることができるよう看取り体制を強化する。
行動計画	・ 日頃からそれぞれの専門職のスキルを高め、お互いに情報を共有しチームケアの質を向上する。
取組の方向性③	居宅介護支援事業所と事前予約や空床利用の調整等を細かにできる関係性を構築する。
行動計画	・ 利用者の満足度がアップするよう生活相談員と介護員が連携し、ユニット体制を整える。 ・ 家族と連絡を密にし、安心・安全な生活を提供できる。 ・ 利用者及び家族のニーズを把握し、定期利用に繋げる。

実施施策	コスト意識の定着
取組の方向性①	職員一人ひとりがコスト意識を高めることにより、設備や備品を大切に取扱うようにし、無駄を省く意識を持って働けるようにする。
行動計画	・ 経営企画会議、ユニットリーダー会議及びユニット会議でそれぞれの数値を報告し、職員一人ひとりがコスト意識を持ち業務へ従事する。
取組の方向性②	ユニット職員の誰もが入居者に適した排泄支援を行い、総務と連携しオムツのコスト管理を徹底する。
行動計画	・ 入居者一人ひとりの状態変化時はより良い排泄用品を選定し、無駄のない排泄用品を使用しコスト削減に取り組む。

イ 中長期的な視点をもって、持続性の高い経営を行う。

実施施策	施設の維持管理
取組の方向性①	定期的に建物内外の点検を実施し、早期に軽微な状態での修繕が可能になるよう点検の実施体制を強化する。
行動計画	<ul style="list-style-type: none"> 各部署で自主点検を定期的に行い何かあれば総務へ報告し早期に対応し大規模な修理にならないようにする。
取組の方向性②	大規模修繕を見据えて、優先順位の高い順に修繕計画を立て予算化する。
行動計画	<ul style="list-style-type: none"> 大規模修繕計画に基づき、修繕の実施時期について本部と協議を行う。 洗浄・除菌水生成装置の使用について検討する。

実施施策	事業継続マネジメント（BCM）に基づく計画的な教育・訓練
取組の方向性①	BCP を職員に周知し継続的に訓練を行い、どの職員も災害発生時に適切に行動できる体制を構築する
行動計画	<ul style="list-style-type: none"> 災害発生時に重要となる初動対応について、シミュレーション訓練を実施する。
取組の方向性②	地域へ出向き、地域防災に園として協力できることを検討し、要望等に応じて必要な物品を準備、管理する。
行動計画	<ul style="list-style-type: none"> 施設が地域においてどのように活動すべきか検討するため、研修やセミナーへ参加し、活動へ繋げる。

ウ 組織内の連携を強化し、強固な組織体制と経営基盤を確立する。

実施施策	組織内連携強化（フォロー体制）
取組の方向性①	施設全体の運営にかかる会議や部会、係活動等のあり方について、現状に即して、見直しを図りながら職員が一体感を感じる組織風土を作る。
行動計画	<ul style="list-style-type: none"> 施設内の情報伝達は、福祉見聞録の掲示板及び一斉メールを使用する。 会議の決定事項は、経営企画会議からユニットリーダー会議及びユニット会議へ復命し、すべての職員へ周知できる体制にする。
取組の方向性②	職場内 OJT 制度の導入により職員間の関係性を深めることで連携を強化する。
行動計画	<ul style="list-style-type: none"> バイザー及びバイジーの関係性を高め、自らの目標が達成できるよう実践する。 チームや係の活動に参加することで、他の職種のスキルや考え方を学び、自らのスキルアップへ繋げる。

実施施策	法令遵守による意識統一
取組の方向性①	社会人として必要な職業倫理・法令遵守の研修を実施し職業人としての意

	識を高める。
行 動 計 画	<ul style="list-style-type: none">・ 職業倫理・法令順守についての研修を実施する。・ 社会人として当たり前の考え方や行動ができ、常に入居者に視点をおいた関わりを持つよう意識を持つよう日頃から職員へ周知する。
取組の方向性②	職員同士で認め合いながら注意し合える関係性を構築する
行 動 計 画	<ul style="list-style-type: none">・ 「気持ちよく働くためにお互いさまに思い合う」ために、各部署、チーム、ユニット等で職員一人ひとりが思いを共有し、また、話し合うことで仲間意識を高める

3 目標利用率

事業名	令和3年度実績	令和4年度見込	令和5年度目標
介護老人福祉施設	97.8%	93.8%	98.0%
短期入所生活介護	80.4%	75.9%	92.0%

4 固定資産物品購入計画

(単位：千円)

項目	数量	執行見込額（税込）
居室ルームエアコン	20	
ブラストチラー&ショックフリーザー	1	
電動ベッド（離床 CATCH 搭載モデル）	2	
眠り SCAN	4	
フルリクライニング車椅子	1	
チルトリクライニング車椅子	3	

5 修繕計画（大規模修繕を除く。）

(単位：千円)

項目	執行見込額（税込）
厨房系統給気ファン修繕	
非常灯バッテリー更新	
ポンプ圧力表示異常修理工事	

6 大規模修繕計画

(単位：千円)

項目	執行見込額（税込）
該当なし	